

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策I-6-2 航空路線の維持・充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 交通対策課長 伊藤 宏 電話番号 0852-22-5898

事務事業の名称	出雲空港周辺対策事業	
目的	(1) 対象	出雲空港の周辺住民
	(2) 意図	出雲空港の管理運営や県民の利便性向上のためのダイヤ変更等に対する理解と協力を得ることにより、運航の安全性、定期的な向上を図り、利用者の利便性を高める。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 出雲市及び空港周辺住民に、出雲空港の管理運営やダイヤ改善等に対して理解を得るために協議を行う。 航空機の騒音による生ずる住宅の騒音障害を防止するため、出雲空港周辺対策協議会との覚書に基づき、空港周辺住民に対して、住宅防音工事の更新経費を補助する。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	騒音防止更新事業の事業件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		1.00	1.00	2.00	0.00	
式・定義	出雲空港住宅騒音防止工事更新事業の事業件数	実績値	1.00	1.00	1.00	2.00			
		達成率		100.00	100.00	100.00			%
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	31,095	4,022
うち一般財源(千円)	31,095	4,022

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・昭和56年度から61年度までに実施した防音工事の更新については、平成20年度でほぼ完了し、新たに空港周辺区域に入居された方の防音工事の更新を行っている。
 ・平成24年度から26年度にかけて、空調機器更新（第3回目）の補助事業（事業主体：出雲市）を実施した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・住宅の騒音防止工事の実施により、周辺住宅の騒音の軽減、住民の生活環境の保持に努めている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・空港の円滑な運営のためには、十分な騒音対策が必要である。

②困っている状況が発生している「原因」

・空港周辺住民の生活に障害が生じていることから、防音工事により生活環境を改善していく必要がある。

③原因を解消するための「課題」

・住宅防音対策を継続的に実施していく必要がある。
 ・ダイヤ変更・増便の場合や空港維持修繕工事等の場合に、周辺住民に丁寧に説明し理解を得ていくことが必要である。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・空港から発生する騒音の軽減のために、住宅の騒音防止工事を継続的に実施していくとともに、周辺住民の方の意見・要望をよくお聞きし誠意ある対応に努め、周辺地域との共生と空港の円滑な運営を図っていく。
 ・航空機の安全な運航が図れるよう空港の管理運営に努めるとともに、航空会社に対して安心、安全、確実な運航の確保について継続的に要望を行っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）